

■ セントラルパーク構想 [概要版]

1. セントラルパーク構想の前提

(1) 目的

福岡県・福岡市の総合計画が目指す姿の実現に向かうひとつの取り組みとして、大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、県民・市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点として、公園そのものが広大なミュージアム空間となり、人々に感動を与えるような公園づくりを目指すもの。

(2) 対象範囲

大濠公園と舞鶴公園、及びその周辺



2. 基本理念と構想の方向性

(1) 基本理念

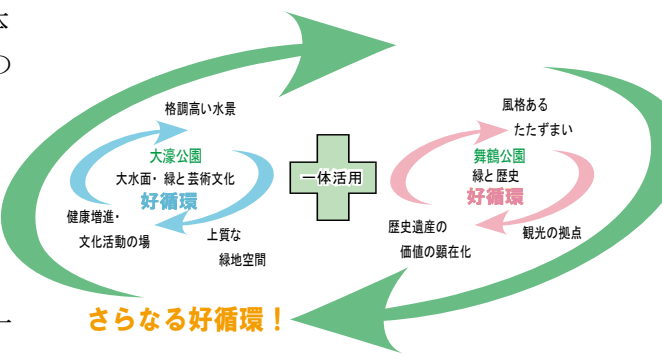
福岡を代表する個性を有する二つの公園が真に一体化することによって、時・人・まちをつなぎ、福岡の都市と文化を物語る場所となることを目指し

時をわたり、人をつなごう。

～未来へつながる福岡のシンボルへ～

を基本理念として掲げる。

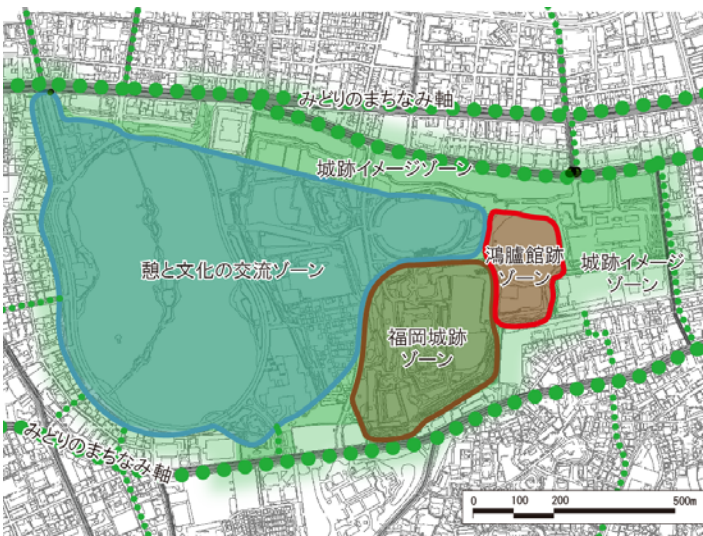
また、両公園が持つそれぞれの個性を磨き上げ、一体活用を図り、さらなる好循環を生み出していく。



(2) 基本的な方向性

- ①大濠公園・舞鶴公園一帯の空間をつなぎ、一体感のある緑地空間づくり
- ②福岡にしかない重層的な歴史資源を活かし、福岡二千年の時をたどる空間づくり
- ③観光集客機能の向上によるにぎわいをつくり、都市の活性化につなげる拠点づくり
- ④「まちの公園」から「公園のまち」へ展開し、みんなで育てる公園づくり

(3) ゾーニング



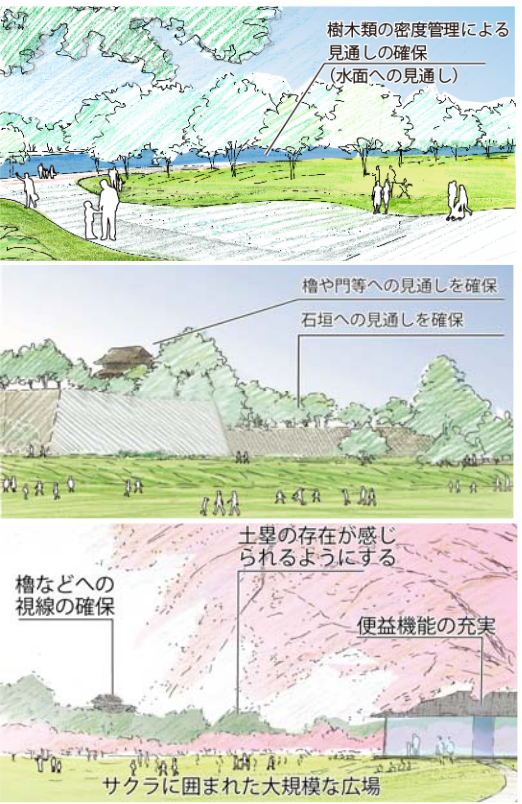
ゾーニング図

(ゾーン)	(整備の考え方)
憩いと文化の交流ゾーン	・水面と大規模な広場を中心に両公園の物理的・視覚的一体性を創出 ・芸術文化機能の連携・充実
鴻臚館跡ゾーン	・鴻臚館の復元整備と迎賓や交流の場としての活用
福岡城跡ゾーン	・福岡城の積極的な復元整備と展示施設としての活用
城跡イメージゾーン	・「お城」が感じられる空間づくり ・周辺の景観形成や緑化誘導

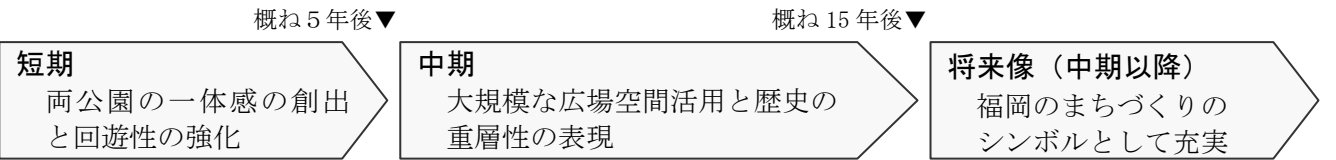
3. 整備の方針

(1) 方向性ごとの整備の方針

- ①空間をつなぐ方針
 - ア. 両公園の有機的な連携と一体的な活用（公園間の園路整備や見通し確保、案内板統一など）
 - イ. 諸施設の移転等の推進（舞鶴中学校、高等裁判所など）
 - ウ. 防災機能向上と自然環境等への配慮（避難地確保など）
- ②時をたどる方針
 - ア. 都市の歴史の重層性が表現できる史跡の復元整備と公開・活用（福岡城跡・鴻臚館跡）
 - イ. 史跡と調和した樹木類の密度管理（剪定・再整備など）
- ③にぎわいをつくる方針
 - ア. 来園者が集い憩える機能の充実（エントランス・芸術文化施設・広場・便益施設・駐車場確保など）
 - イ. 様々な演出（利用プログラム導入、共同イベントなど）
- ④みんなで育てる方針
 - ア. 市民・企業などの参加推進（公園財源の確保など）
 - イ. 管理運営体制の充実（県市連絡組織の設置）
 - ウ. 周辺地域と連携したまちづくりの推進（民地緑化など）



(2) 段階的な整備の方針



(3) 構想図 (概ね 15 年後 [2030 年頃])

